

京のセントラルパーク、歴史と自然のストック

京都御苑の魅力発信

# 京都御苑



# NEWS

Kyoto Gyoen  
National Garden  
News

winter

冬

第144号  
2019.12.1

京都御苑ニュース

## CONTENTS

- ▶ 京都御所、御苑の私
- ▶ 自然の中でいのちと話そう
- ▶ 御苑境界そぞろ歩き
- ▶ 学生コラム 一京都府立大学—
- ▶ Information



## 京都御所、御苑の私

吉田忠嗣

京都御苑は第二次大戦後、旧皇室苑地を広く国民に開放する目的で東京の皇居外苑、新宿御苑とともに国民公園の一つとして誕生した。京都では国の管理する御苑を応援するため京都府、市や京都の経済界が中心となって昭和三十年に「京都御苑保存協会」が発足された。令和二年に設立六十五周年を迎えるにあたり、現在の国民公園協会京都御苑会長でもある吉田(株)代表取締役の吉田忠嗣氏に京都御所や御苑に対する想いを語っていただいた。

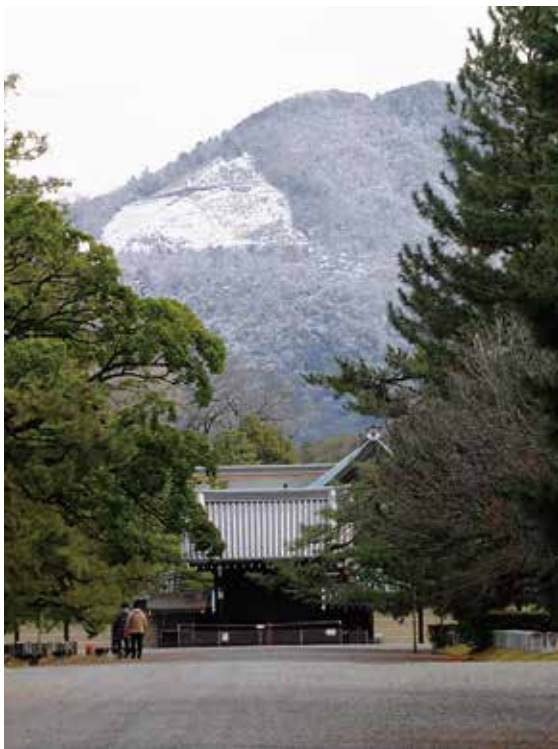
京都御苑、閑院宮邸跡の収納展示館。中庭と入母屋造の南棟に雪が舞う

私にとって京都御苑との付き合い合いがこれほど永きにわたって続くとはい思ってもいませんでした。そのお付き合いは、第二次世界大戦が終わりに京都は戦火からは免れましたが、日本中を拭う荒廃した空気のなかで当時、市立小学校から両親の勧めで同志社中学校に入学したときから始まります。子供ながら御所はかつて京都に都があったころにはずっと天皇陛下がお住まいになっていた場所であり、崇高な空間であると教えられていただけに毎日学校の行き帰りに隣にあるその存在に一種のあこがれと親しみを心に抱いており、幸いにも自由に許可無く出入りできることに喜びを感じておりました。

中学校の三年間は、学校のグラウンドが大学との共用ということで中学生が使用することが難しかったこともあって、天気に恵まれた日には必ずといっていいほど学校に持参した弁当を急いで食べ終わると自然豊か

な御苑を友人と訪ねました。ドッチボールやキャッチボール、かけっこなどをしながら友達との交友を深めることになっていったと思っております。高校時代は残念ながら学校が鳥丸今出川から岩倉に移りましたが、昭和三十一年（一九五六）同志社大学に入り再び御苑との再会です。そこでは中学時代の「遊び」から大学ではベンチに座って本を読んだりという「勉学」に勤しむ場所として図書館代わりの役目を果たしてくる存在となり、自分の人間形成にも大いに役に立つ場所であったと思います。

そのことだけなら、あまり他の学生達と変わらないことだったと思いますが、ある出来事から再び京都御苑との縁が始まります。昭和三十年（一九五五）に現在の国民公園協会京都御苑の前身である京都御苑保存協



京都御苑、京都仙洞・大宮御所と大文字山

会が、御苑の管理予算がそれほど潤沢でなかった当時の厚生省に協力するための団体として、京都の官・民を挙げて発足します。その後東京の皇居外苑保存協会、新宿御苑保存協会と合わせ、三団体が統合することになり、昭和五十七年（一九八二）八月一日に新たな団体として国民公園保存協会が設立され、その団体の理事に私の父、吉田忠が就任したのです。当時月桂冠（株）会長であった大倉治一氏の後を受けて、保存協会の副会長（京都御苑会長）にも就任させていただきました。そして不思議なご縁で私も平成十二年（二〇〇〇）から理事に、そして今は故大倉敬一月桂冠（株）相談役の後を継いで京都御苑会長に就任しております。

機会を得て、その内容の把握を努めさせていただいたこともありました。さらにもうひとつ申し上げることがあるとするならば、以前京都経済同友会の代表幹事を務めていた時、当時の京都市内の小学校のグラウンドがすべて砂地であったことから、緑豊かな御苑で過ごした思い出が目につかび、自分の経験から小学校のグラウンドが少しでも情操教育の観点からも芝生化したいという思いに駆られました。そこで同じ思いを抱いていた友人達と京都校庭芝生化プロジェクトを立ち上げ、現在では特定NPO法人として今も継続されて活動しており、二十五校以上のグラウンドが芝生化されています。これも若い時に御所や御苑との関わりがあり、そこで過ごした経験があったからでしょう。

今のように一年を通じて一般公開され、開かれた御所というのはすばらしいことではありますが、やはり御所を頂く京都御苑は我々京都人の心ふるさとでもあります。公開に際してはいつも美しい景観を保ち、人々が規律正しい姿で訪れることが今後とも最も望ましい形でありましょう。私にとっては、「京都御所、御苑と私」という並列の関係ではなく「京都御所、御苑の私」という形でより親しみを覚えながらいつまでも自分にとつてのパワースポットであってほしいと願っております。

吉忠株式会社 代表取締役社長  
（一財）国民公園協会京都御苑会長

## 草木や生きものが語りかけていること 〜未来を担う子どもたちへ〜 自然の中でのちと話そう

塚本珪一



半月斑が映えるトラツグミ

いのでカメラの力を借りるしかない。

また、別の日にも、私は御苑北東の母と子の森で、トラツグミに出会う。樹林のなかの君は半月紋の衣裳をまとい、麗しい姿だった。小さい木々の間の姿は荘厳というか、あまりにも眩しかった。

京洛には鶴伝説がいくつもあるようだ。鶴の物語は凄みというか怪奇の物語であった。街中の天神社は鶴退治の鎌が祀られているという。その声が君の声だというのが、それはあまりにも失礼なことだ。私は君の声をまだ聴いていないが、多分温和な美声に違いない。野鳥に詳しい西台律子師匠のトラツグミの声は美声だった。それは「ヒョーヒョーウ」で、ウは震えるという。夜の山で聞くと少し不気味かもしれない。

御苑・迎賓館の西の疎林にもトラツグミとモズが現れる。トラツグミは地表のミミズでも探しているのだろう。広い森を静かに彷徨する。私たちに気づいたトラツグミは飛び、樹上に静

京都御苑の冬は背後に広がる京都北山の遙かな風景が私たちに幻想的なキャンパスを提供してくれる。この風景を絵にすることは少々難しい。

その日は幸いにも鷹司邸跡あたりの残雪にトラツグミの気配があり、しばらくたたずんでいると出会うことができた。トラツグミはその複雑な羽の模様をそう簡単に言葉では表現できない。

## 学生コラム

## 御苑と京都博覧会

京都府立大学 文学部歴史学科4回生  
担当教員：岸泰子 藤澤 愛

京都御苑南西角の間之町口を入ったところにある案内板を見ると、仙洞御所の南の広場の一角に「博覧会場跡」とあります。しかしその場所には原っぱが広がるばかりです。

京都御苑は1873(明治6)年から京都博覧会の会場になりました。その前年に開催された第一回京都博覧会は会場が分散し不便であったため、大きな会場を探していました。そこで注目されたのが、都が東京に移って以来使用されていない皇室の建物が集中している御所周辺です。また、博覧会では会場の建造物を見ることも重要視されました。

その後、1881(明治14)年には常設の博覧会場が仙洞御所の南にできます。その様子は地図にも描かれています。残念ながら会場は1913(大正2)年に取り壊されているため、現在その跡を見ることはできませんが、当時の地図を片手に歩くことで博覧会の光景が思い浮かぶかもしれません。



改正新刻京都區組分名所新図(一部)  
著者：樺井達之輔  
出版社：風月庄左衛門(明治20年)



小学校から望む京都御苑の森



湯川秀樹博士の肖像画と直筆の額

京都御苑は、その半分ほどが本校の校区に当たりますので、御苑内の官舎から通ってくると子どもがいたり、いつもの散歩道にしている方がおられたりと、地域の方々にとっては、御苑は特別な名所ではなく、日常の場所となっています。

百五十周年を迎えます。これまでに多くの卒業生を輩出してきましたが、その中でも特に有名な方に、日本初のノーベル物理学賞を受賞された湯川秀樹博士がいっぱいいます。

足立素子

御苑界限ぞろ歩き  
みやい  
宮居の薨  
いらいか  
仰ぎつつ

本校にとりましても、子どもたちが運動場から御苑の森を日々眺めながら四季の移ろいを感じたり、生活科の校区探検で御苑の中を探検させていただいたりと、いつも身近な存在になっています。本校で育った子どもたちは、将来、京都から離れることがあっても、きっと御苑のことを、自分の母校のように懐かしく思うことでしょう。

※タイトルは、校歌の一節です。  
(京都市立京極小学校校長)

【参考図書】『御苑に近き学び舎に』  
著者：荒木源 発行：京都新聞出版センター



生活科の学習活動中



音立てて種皮を割るイカル

このあたり、人気がない日は、君とゆつくり話ができそうだ。この日も君の衣裳をつぶさに見せてもらった。だが、君は好物

止する。時が流れ、どこかへ去って行く。

私は次の日に鷹司邸跡の森でトラツグミに出会った。あの、禁門の変のとき、長州藩兵がここにたてこもって最後の攻撃を行ったという。



せわしく木をつつくコゲラ

の太いミミズを見つけた時だっ  
たらしい。ごめんなさい、お昼  
ご飯中だったのだ。

冬の季節、母と子の森にはトラツグミがよく現れる。ここは朝早くは子どもたちの通学路であり、犬の散歩道だからゆつくり話すことができない。でも、時には森の仲間カワラヒワの群れ、忙しいコゲラ、音立てて実を食べるイカル、君の真似をするシロハラ君、そう、時には瑠璃の光彩を放つルリビタキも現れてくれる。

私とトラツグミの語りは単純であるが、語り手は私であり、時にはトラツグミが私に語る。その間には今日という時刻と大昔の時刻が入れ替わるように感じる。



鮮やかな瑠璃色のルリビタキ

(京都自然観察学習会)  
※写真提供：西台律子

■イベントのお知らせ

京都御苑冬の自然教室

苑内のいろいろな生きものを幅広く観察する初心者向けの自然観察会です。

日時：令和2年1月19日(日) 9:30~12:00

受付：9:00~9:20

集合：富小路口(御苑南東 地下鉄丸太町600m)

講師：京都自然観察学習会の先生方

内容：冬の御苑の植物、きのこ、昆虫や野鳥の生態を観察します。

参加費：100円(保険代)

その他：筆記用具、雨具・水筒の準備、野外活動に適した服装でご参加ください。



\*当日7:00時点で気象警報が発令されている場合など、やむなく中止する場合があります。

主催：環境省京都御苑管理事務所

運営：(一財)国民公園協会京都御苑

京都御所の通年公開

公開日：通年(事前申し込み不要/無料)ただし、下記は休みとなります。

月曜日(祝日の場合は翌日)

年末年始(12月28日~1月4日)

行事等実施のため支障のある日

公開時間：10月~2月/9:00~15:20(最終退出は16:00)

入場門：清所門

お問合せ：宮内庁京都事務所 ☎075-211-1215

京都仙洞御所の参観

事前申込に加えて当日受付も行われています。

当日受付：京都仙洞御所にて11時頃から先着順に整理券を配布。(満員になり次第終了)当日受付枠は13:30、14:30、15:30。各時間とも定員は35名。

お問合せ：宮内庁京都事務所 ☎075-211-1215



京都仙洞御所南池 州浜

京都迎賓館一般公開

日本の歴史・文化を象徴する京都で、海外からの賓客をお迎えし、日本への理解と友好を深めていただくための国の迎賓施設です。

公開日：迎賓館のホームページでご確認ください。  
参観料金：大人1,500~2,000円 大学生1,000~1,500円  
中高生500~700円

問合せ：迎賓館京都事務所 ☎075-223-2301



京都迎賓館 桐の間  
出典：内閣府 迎賓館ウェブサイト  
([https://www.geihinkan.go.jp/kyoto/kiri\\_no\\_ma/](https://www.geihinkan.go.jp/kyoto/kiri_no_ma/))

■苑内利用施設・サービスのご案内

閑院宮邸跡収納展示館

京都御苑南西角の旧閑院宮邸跡地に建つ公家屋敷の風格残る旧宮内省建物の遺構です。収納展示室では京都御苑の歴史や自然を紹介しています。京都御苑の総合案内所として、御苑マップや苑内の見どころなど旬の情報を提供しています。

開館時間：9:00~16:30(入場は16:00まで)/無料

休館日：月曜日(祝日は開館)、年末年始

定時混みガイド：11:00~、15:00~

アクセス：問ノ町口すぐ(御苑南西角 地下鉄丸太町 市バス烏丸丸太町 徒歩5分)

拾翠亭(茶室)

五摂家の一つであった九條家別邸の遺構で、茶室として江戸時代後期に建てられました。

公開日：毎週木・金・土曜日、葵祭、時代祭 9:30~15:30 参観料 100円(高校生以上)

貸切利用：茶会、句会、謡曲等の会合にご利用できます。利用料については協会ホームページをご覧ください。

休憩所(レストハウス・売店)

休憩やお食事・喫茶にご利用ください。京都御苑オリジナルのお土産物を多数揃えています。

営業時間：9:00~16:30

中立売休憩所(『京都御苑 檜垣茶寮』)

京都御所前に位置しており、御所参観へのアクセスは抜群です。セットメニューから軽食、カフェまで木の香る落ち着いた雰囲気の中でお食事ができます。売店『檜垣』では、御所限定のオリジナル商品を多数取り揃えています。KYOTO-WiFiも利用可能。中立売駐車場に隣接しています。



御所の華弁当右近の橋(刺身付き) (要予約)

富小路休憩所(御苑南東富小路口すぐ、テニスコート隣接)軽食・喫茶にご利用ください。

駐車場

料金：乗用車800円(最初の3時間)

以降30分毎100円

バス2,000円(最初の3時間)

以降1時間毎300円 \*夜間料金の設定あり。

中立売駐車場(乗用車、バス併用)

入場 7:40~19:30 出場 24時間

(高さ2.3m以上の車両はバス料金となります)

清和院駐車場(乗用車専用)

入・出場 8:40~20:00(20:00以降閉鎖)

運動施設

富小路テニスコート(5面) 有料

富小路広場(6面)/今出川広場(3面) 有料  
軟式野球・ソフトボールなどにご利用ください。

申し込み：(一財)国民公園協会京都御苑



御苑の冬の鳥  
イカル アオジ トラツグミ アオバト

京都御苑Instagram/Twitterで季節の写真をチェック!



@kyotogyoen\_info



@gyoen\_info

会員募集(2020年度)のお知らせ

2020年度(2020年1月~12月)の国民公園協会京都御苑会員を募集します。

■年会費

●普通会員..... 1,000円以上

●賛助会員(会社・団体)

..... 10,000円以上

■会員特典

1 京都御苑ニュースの送付

2 葵祭及び時代祭の観覧席招待券の進呈(ただし普通会員は会費4,000円以上の方に限ります。)

■申し込み・お問合せ先

(一財)国民公園協会京都御苑



編集後記

明治の大内保存事業により京都御苑が形作られて2020年で137年、戦後、国民公園として再生して73年。その間、天皇のお住まいであった御所や御苑に対する京都の人々の確かな想いが御苑の維持管理を支えてきたと言っていい。(発行人 池田善一)

企画・発行/お問合せ先

一般財団法人 国民公園協会 京都御苑  
〒602-0881 京都市上京区京都御苑3  
TEL 075-211-6364

編集

白川書院

監修

環境省京都御苑管理事務所



注釈配合率70%再生紙を使用しています